

平成 24 年 9 月度県内産業景気動向調査結果

この調査結果は、中小企業庁の指定事業に基づいて設置された山口県内の情報連絡員 60 人に、本会が新たに選んだ 20 人を加えた 80 人の連絡員より業界動向を把握した結果です。

山口県の主要指標 DI 値（平成 24 年 9 月末現在）

※DI 値とは、前年同期に比べ「増加」・「好転」したとする企業割合から「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値です。

業界の景況（〈好転〉－〈悪化〉＝〈DI 値〉）

前年同月比は、好転：0.0% 悪化：48.8% DI 値：▲48.8% ポイント

売上高（〈増加〉－〈減少〉＝〈DI 値〉）

前年同月比は、増加：6.3% 減少：47.5% DI 値：▲41.2% ポイント

収益状況（〈好転〉－〈悪化〉＝〈DI 値〉）

前年同月比は、好転：2.5% 悪化：48.8% DI 値：▲46.3% ポイント

山口県の業種別 DI 値(業界の景況)（平成 24 年 9 月末現在）

 30 以上	 30 未満～ 10 以上	 10 未満～ ▲10 以上	 ▲10 未満～ ▲29 以上	 ▲30 以下
--	--	---	--	---

食料品	織 維 工 業	木材・ 木製品	印 刷	窯業・ 土石製品	一 般 機 器	輸 送 機 器	全 製 造 業
▲33.3	▲25.0	▲33.3	▲100.0	▲83.3	▲60.0	▲50.0	▲54.5
							

卸売業	小売業	商店街	サービ ス 業	建設業	運輸業	全 非 製造業	全 体
▲40.0	▲55.6	▲50.0	▲30.8	▲33.3	▲71.4	▲44.7	▲48.8
							

特記事項（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）

食料品	毎年、敬老会の記念菓子を地区組合員が受注しているが、前年比で単価が25%減額されたところがある。前年並みのところもあるが、過去から一度も発注の無い地区もある。	パン・菓子製造業
	8月度は▲1.2%、お盆期間の13日～16日が平日とカレンダーの並びが例年より悪かったものの、過去最高実績であった昨年度と同等実績。9月度は9/23時点で昨年同様のトレンド。9/27、東京築地場外市場に宇部市と共同で魚のアンテナショップを開業。	水産食料品製造業 萩市
	先月と変わらず資材関係の価格が上がり困っている。また食品関係原料の供給不安や価格高騰などの問題が大きくなってきている。価格の転嫁が難しく、今後どの様にコストを抑えていくかが課題だが、難しい。	水産食料品製造業 下関市
繊維工業	景気が良くなる見通しが無い。	帆布製品製造業
	受注状況は低調で厳しい。日本国内は量的に販売が期待できなくなった。むしろ、これが当たり前になってきたと思われる。ネット販売も結果が出るまでには時間がかかりそうだが、過当競争でCM投資もかかりそうである。中国の反日行動で、現地工場も日本人の行動が制限され出張も中止している状況。日系企業はこの度の騒動で、現地の工場はさらに労務費アップを要求され苦慮しており、操業度を落とし中国国内の安い中国資本の外注先へシフトしないとやっていけなくなり、工場探しに奔走している状況。中国生産は、今後は予測できない状況となってきた。	下着類製造業
	発注がギリギリなので、生地・付属品などの調達が間に合わない。売上につながらず、厳しい。	外衣・シャツ製造業 下関市
木材・木製品	新設住宅着工戸数は、前月より微増となっている。木材価格は、依然として昨年の平均を下回り、変動が無い。	製材業・木製品製造業 山口市
	公共工事等が若干出てきているが、地元で受注できていない。消費税の駆け込み需要の兆しも無い。	製材業・木製品製造業 下関市
印刷	9月は印刷月間で多忙にしている。青年部が視聴覚障害者のために、点字付き卓上カレンダー300部を山口県盲人福祉協会に寄贈した。昨年に続き2回目。カレンダーは月めくり式で、日付や曜日、祝日が点字でわかるよう工夫。また、色覚障害者にもわかるように日祝日は黒色だけで表記したものの。印刷業への理解を深めてもらおうと青年部が企画し、県内外の印刷会社など29社の協力で制作した。	印刷 下関市

	9月は受注も芳しくなく、過去最低の売上となった。10月からはネット販売も視野に入れた新規事業展開で巻き返しを図る。	印刷 山口市
窯業・土石製品	対前年同月比は、骨材64%、路盤材84%、再生材90%、全体では71%。採石資源の「地産地消」の推進について組合から県・市に請願書を提出する為、準備を進めている。	砕石製造業
	出荷量は前年同月比、前月比とも、それぞれ87%、94%と減少。岩国地区の出荷量は前年同月比を上回り推移しているものの、他の5地区はいずれも低調。現時点では、セメント・骨材等の資材調達は、特に問題は生じていない。価格も安定して推移している。	生コンクリート製造業
一般機器	尖閣諸島の国有化による、中国国内での反発が大きく、一部生産の凍結や治安悪化などの影響を受け、今後先行きの不透明感が強まっている。国内でも2030年代の原発廃止目標の提示等を受け、下期の業況は厳しさを増している。	一般機械器具製造業 柳井市
	業況に与える中国の影響は特にはない。中国人の技能実習生受入においても現状特段の変化はない。	一般機械器具製造業 周南市
	先月に続き、依然として景気全般は芳しくない。中国・韓国の反日運動が静まったとしても、当分の間、立ち直りが難しい状況。自動車関連の企業は、円高の影響も大きい。	一般機械器具製造業 防府市
	受注量が前年同月比で約50%ダウン。休業補償を取り入れる企業も増えている。	一般機械器具製造業
	製缶についての売上高が微増となった。	宇部市
	金型の受注状況は、海外向けその他が決まり、仕事量は何とか確保出来て、機械操業度も上昇し、金型の見積も活発に入ってきている。出荷した金型の生産量増加で金型の増設、老朽化による金型の更新が多くなってきている。但し価格、納期面では非常に厳しい状況ではある。成形製品の動向としては、民生部品、自動車関係とも受注は減少しており、先行き不透明な状況が続くそうである。	特殊産業用機械製造業
輸送機器	車両部門の活況を取り戻すには、当分（一年程）は時間を要す模様である。精密加工部門も、作業内容により格差が出始めて、一部に厳しい経営を強いられる事業所が出てきている。	鉄道車両・同部品製造業
卸売業	各業種とも経営状況に変化は無く、回復基調ではない。先行きは不透明である。	各種商品卸売業 周南市
	異業種の組合員の集まりのせい、相互の連携が取りにくい様に思う。	各種商品卸売業 防府市
	各業種とも売上、利益が減少している。特に建築関係について、地元業者への発注が官庁、民間ともに減少し苦慮している。	各種商品卸売業 下関市

小売業	今年はいつまでも暑く、秋冬物商品の動きが悪い。各メーカーは、クリスマス時期のメイク限定品の予約活動をすすめている。	化粧品小売業
	今月も厳しい状況は変わらない状態。10月より出張買い取りに規制がかかるので、一部の悪質な業者の買い取りによるクーリングオフで、新たな課題が生じることが予想される。なにか打開策を見い出したい。	中古品小売業
	老舗百貨店が来年2月に閉店を発表し、波紋が広がっている。	各種商品小売業 周南市
	個人消費は、前年比のみで見れば、好転していると思われる。特に婦人服等の女性の関係と、高額品の動きが良くなっている。	各種商品小売業 山口市
	先月退店の2階玩具店跡地は、メーカーの協力を得てゲーム機を設置したが、1階靴屋跡地は空き店舗のまま。新規テナント誘致に努力しているが、なかなか難しい状況である。又、大手電機店による集客効果はあるのだが、気温の高め傾向により衣料品店の売上が悪く、大手電機店を除く既存店舗は売上、客数とも前年割れとなっている。	各種商品小売業 長門市
商店街	暑さが続き急な冷えもあり、消費者はファッションに迷い、秋冬一色にならない様子。空き店舗対策で飲食店が増え、物販店に続き飲食店も店舗が過多となった。街をどう造っていくかの根本的な問題を視野に入れて誘致をしたいが、なかなか余裕のない状況である。	山口市
	10月5日～8日迄、商店街での秋の萩焼祭りを開催する。活気を期待したい。	萩市
サービス業	9月は暑さが中旬まで続いたが、最近涼しくなり秋を感じられる頃となった。美容室も秋の婚礼シーズンに備えているが、新しい業態の事業所に予約しているのか、例年以上に10月、11月の予約がない。	美容業
	規制緩和、自由競争の中では、どこの中小企業も現況は悪く、デフレのなかでは大手企業といえども現況は悪い。消費者が守りの姿勢になって、お金を使わなくなり、景気が後退しており、先行きは更に暗い。	理容業
	現在の自動車の1年点検実施率は40%程度であり、古い車ほど実施率が低くなる傾向にある。古い車は故障発生率が高くなるので、事故防止のためにも定期点検が有効になる。このことから、9月、10月の2ヶ月間を自動車定期点検整備促進運動期間として、全国で定期点検の実施を呼びかけている。	自動車整備業
9月半ばにエコカー補助金が終了し、新車販売台数の伸びも鈍化したので、商品の販売取付業務が減少傾向にある。また、最近の気温の低下で、冷房修理が減少している。		

	先月と状況が変わらず、どんどん厳しい状況になってきており、経営持続がきびしい状況にある。いままで信頼関係での紹介により仕事を得ていたが、今からは、Push していかなければならないが、そういった営業を経験していないので、非常に苦慮している。	情報サービス業 宇部市
	相変わらず業界的には不景気な様相。地道に需要の掘り起こしを図って行かなくてはならない。異業種間のジョイントで新たな商品開発をさぐる必要があるが企業の体力があるところも少なく難しい問題である。	情報サービス業 萩市
	組合員より、見積もりの依頼や受注等の良い話を聞くことが無くなり、先行について不安の声ばかりが聞こえてくる。	屋外広告業
	<p>やや上向きの気配はなくなったが大局に変化は無い。</p> <p>領土問題に起因する景況については、中国、韓国の訪日観光に対する自粛等で影響のあるのは大都市か有名観光地で残念ながら山口県内の飲食業には影響はない。逆に肉の生食禁止等による焼肉店の衰退や中華料理店の減少などが見られるという報告もある。</p> <p>業界としては不況停滞であるが2極化はますます顕著化している。大手チェーン店の地方展開により、零細起業はますます困難になっている。地方経済の悪化が飲食需要を減少し、飲食需要の減少が地方文化の衰退を生み、地方文化の衰退が人口の減少につながり、人口の減少が飲食需要の減少につながる、悪循環のスパイラルに落ち込んでいる。</p> <p>消費税率の引き上げの前に食材料・燃料価格等の上昇が経営を圧迫してくる。価格は再び高値安定に小麦、大豆価格の値上げは食材の値上げにつながる。節電という名の電気料金の値上げは飲食業界の衰退につながり、食文化の火が消え、地方文化の特徴が失せ、観光の目玉がなくなるという悪循環を生む。</p>	飲食業
	昨年9月は、国体関連で売上が伸びたが、今年は縮小している。	旅館業 山口市
	宿泊客数は前年同期比89%と約1割の減少となった。その中で、前年比を上回った宿泊施設が2割あるという事は、萩市全体が落ち込んでいると見る（考える）のは、早計かと思う。	旅館業 萩市
	<p>日帰り客を受け入れる施設も苦戦。宿泊客を受け入れる施設も苦戦。お土産も芳しくない。</p> <p>海外客の日本離れも身近で話題となる。などなど、明るいニュースが聞こえてこない。宴会等も昨年比に減っている。商品単価も安いまま推移している。</p>	旅館業 下関市
建設業	仕事量は8月と同じく、一段落という感じである。物件案件が少なく、これから先の仕事に関しては、見えない状況にある。	鉄骨工事業

	中電への工事申請 8月 227件（当支部分 185件）、前年同月 305件（同 257件）。太陽光発電への申請 32件、オール電化申請 24件（前年は太陽光 17件、オール電化 15件）。LED街路灯への切替・新設申請は 65件（前年は 80件）。受注状況は全体でやや減少。	電気工事業
	“建設業における社会保険未加入問題”について、全国団体から専門工事会社へのアンケート調査が始まっている。	左官工事業
	県・市町の公共工事は、多数の発注が出てきたが、一件当たりの契約額が少額（1,000万円程度）なものが多い。民間工事の発注は依然として少ない。	土木工事業 柳井市
	公共工事が少しずつ出ていますが、絶対量が少ないので、低価格競争が続いており、苦しい経営状況の様相である。	土木工事業 周南市
	24年9月の受注高は、対前年同月比 174%。今年度の累計は、対前年比 96%。	土木工事業 萩市
運輸業	平成 23年 9月は、東日本大震災と原発事故による物流の減少をみた。今年の 9月は、竹島・尖閣諸島の問題で輸出量が減少したことが影響し、国内輸送も停滞気味ではあったものの、後半やや持ち直し、対前年比 23%のプラスであった。鉄鋼材の輸送は横ばい、飲料等の輸送は暑さが長引いているためか、輸送量が伸びている。油関係は 3.4円の値上げ。価格変動が著しく、小規模の輸送業者の経営は、圧迫度が高くなってきている。	一般貨物自動車運送業 下松市
	今年度に入り、幾分、盛り返したようにも見えたが、8・9月は低調である。更に尖閣問題に揺れる中、中国では車関係日系企業の多くが数日間の操業停止を余儀なくされている。これらの関係に依存の多い当組合にとっては、不安の一材料となっている。燃料価格に於いても上昇基調は変わらず、今月は、毎週のように 1円/ℓ以上値上がりしている。	一般貨物自動車運送業 防府市
	輸送量全般が縮小し、価格競争が一段と厳しくなっている。原価を下げるにも限りがあり、苦しい経営状況が続いている。例年 10月、11月は荷が良く動く時期なので今後に期待したい。	一般貨物自動車運送業 宇部市
	業界の景況は、相変わらず、低調なままの不変というところである。	一般貨物自動車運送業 小野田市
	庶民にとって、9月も真夏の天候が続き、企業にとっても日中関係の悪化により、大変な状況。こういった中、輸送業務も一向に上昇の気運は無く、燃料が値上がり傾向である。9月分軽油価格は、1ℓ当たり：一般SS価格 121円と値上がり状況。当組合の価格は 1ℓ当たり：SS価格 106.5円だが、値上がりは止むを得ないように思う。9月のETC事業は 8月並みで、まあまあの業績である。	一般貨物自動車運送業 下関市

	<p>タクシーチケットの取扱い金額は、前年比マイナス10.2%（8月1日～9月20日分）となり、6月からの大幅な減少に歯止めがかからない。8月1日～31日分は▲11.7%の減少、9月1日～20日分は▲7.8%と大幅な減少が続いている当組合の取扱いは、光市、下松市、周南市、防府市の地域だが、特定の地域や得意先ではなく全体的に、利用枚数が大幅に低下、加えて利用単価も減少している状況。日中の病院通い等、現金利用客の減少はそれほどではないが、夜間の飲食店関係が激減している。燃料のLPGについては、CP（通告価格）と為替に連動して変動するが、原油価格の上昇に関連し上昇してきた。9月のタクシー会社の購入単価は前年比マイナス3%だが、今後の上昇が懸念される。前年度は国体による一時的な需要があったが、今年度は明るい事案が乏しい状況であり、地域景気の大幅後退が懸念され、加えて、消費税増税による国内景気の後退も大いに危惧される。</p>	<p>一般旅客自動車運送業</p>
--	--	-------------------